

発行:(一財)國學院大學院友会
https://www.kokugakuin.or.jp
E-mail: inyuukai@kokugakuin.or.jp
〒150-0011
東京都渋谷区東四丁目12番8号
電話 03(3400)7781(代)
FAX 03(3400)7996
郵便振替口座番号:00190-9-11208

國學院大學 院友會報

会報をお読みの皆さまへ

本来であれば8月半ばに「第375号残暑見舞号」を発行するところ、新型コロナウイルス感染症等の影響により、発行を見合わせました。皆さまに直接お知らせができなかったことを(ホームページに告知)、深くお詫び申し上げます。今回「新年合併号」として、4面にて発行いたします。また、ご協賛をいただいております貴名広告も、この度はお願いをいたしませんでした。いつもご掲載をいただいている皆さまには重ねてお詫び申し上げますとともに、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり



一般財団法人 國學院大學院友会
会長 吉田 茂穂
(よしだ・しげはく/73政・74神専攻/鶴岡八幡宮宮司)

明けましておめでとうございます。院友の皆さまには、新しきよき年をお迎えになられたことと拝察いたします。併せて、皆さまとともに、謹んで皇室の御慶と国家の繁栄、世界の安寧を祈念申し上げます。
コロナ禍での新年となりました。生活に大きな影響を受けておられる方も少なくないと拝察いたします。また列島には激しい災害の爪痕が、いまだ幾つも残されております。衷心よりお見舞いを申し上げます。

経済的にも社会的にも、日常も生活も、立ち行かなくなる現実を私どもは目の当たりにしてまいりました。先の見えない大きな不安は、誰しもが受け止めていることなのでしょう。今までの価値観にこだわらずに、新しい方法、新しい思考、新しい現実に向けた取り組みもまた、試行錯誤しながらそれぞれの分野で知恵を出し合っていくかなくてはなりません。
令和二年六月二十五日に、本会の定款に基づく評議員、理事・監事の改選を行いました。業務執行体制の中で、常務理事は加藤元茂氏が規程による定年を迎え、後任に坂本眞佐人氏が満場

凡ては國學院から

一般財団法人 國學院大學院友会
常務理事 坂本 眞佐人
(さかもと・まさと/81経)



皆さまには、日常口頭からご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が長期に亘り、また昨夏には集中豪雨や台風による大きな被害が発生しました。影響を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。院友会もコロナ禍による事業の大きな変更を余儀なく

一致で選定されました。新型コロナウイルス感染症の蔓延が進んでいく中で、十年以上に亘り続いてきた、各支部主管による全国各地での公益事業も、支部活動も、この三月までは自粛のお願いをいたしました。

四月から、本会も支部もどのような活動が展開しているのか、大いに苦慮することです。
学生たちの日常も心配です。語り合い、学び合い、友を作り、自分を作っていく学生生活が、どのように送られているのか。母校が講じてくださったご支援を切にお願い申し上げます。皆さまの状況が落ち着いたとき、後輩たちが「國學院でよかった」と感じられるように、お手伝いができたらと思います。

令和三年(二〇二二年)は辛丑(かのとうし)です。一歩一歩誠実に勤勉に歩んでいく年です。まさにこのように歩みを進めていきたいと思えます。

一日も早く皆さまと一緒に大きな声で校歌を歌い、肩を組み声援を上げ、さまざまな思い出を語り合う日が来ることを願って、新年のご挨拶いたします。

されました。皆さまには大変なご不便をお掛けして、衷心よりお詫び申し上げます。

さて、院友諸兄なら誰しもがテレビや新聞紙などで國學院大學の名前に接した時、自然と在学当時の思い出に結びつくのではないのでしょうか。國學院大學を母校とする同窓会組織として、院友の皆さまとの絆を大事にして

母校との架け橋の一端を務めたく存じます。本部事務局と全国各支部、協力団体との協働による事業並びに公益事業の推進。院友の皆さまの活躍の応援、また國學院大學の人材育成に係る在学生の修学支援並びにスポーツ振興支援、在学生保護者会との共催事業な

ど、國學院大學と院友会の知名度を高める施策を進めてまいり所存です。
令和二年三月に卒業(128期)された皆さまには、門出を新たに祝う機会として、これからの院友大会(大同窓会)には是非ご参加ください。お会いできるのを楽しみにしております。

平穩な日常が早く戻ることを強く念じ、併せて院友会への更なるお力添えをお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

小川選手ドラフト3位指名
十月二十六日(月)に行われたドラフト会議にて、硬式野球部所属小川龍成(おがわ・りゅうせい)選手(健体4年)が千葉ロッテマリーンズから3位指名を受けました。



おめでとうございます!更に世界へ羽ばたいてください!
この階級は國學院が表彰台を独占した。

昨年の特シャパン大学日本代表では、2番遊撃手で先発出場、日本の勝利に貢献し、活躍しました。これからも益々のご活躍をお祈り申し上げます。



藤阪泰恒さん(127健体)初優勝
令和二年十月三十一日、十一月一日に2020講道館杯全日本柔道体重別選手権大会兼全日本選抜柔道体重別選手権大会が千葉ポートアリーナで開催された。男子66kg級には院友の藤阪泰恒選手(127健体/パーク24)、相田勇司選手(法3年)、武岡毅選手(日大3年)、新井雄士選手(史3年)が出場。決勝は藤阪選手と二連覇を目指す相田選手の國學院同士の戦い。藤阪選手が払い腰の技ありで優勝。武岡選手も3位となり、この階級は國學院が表彰台を独占した。

コロナ禍での本会の取組等について

新型コロナウイルス感染症の大きな影響と拡大防止の観点から、本会では令和2年度に予定しておりました事業を、変更・自粛いたしました。概要をお知らせいたします。

【育成事業】

「学術・スポーツ振興資金」での対象6部会と母校所蔵貴重資料のデータ化への支援は、これまで同様に実施いたします。皆さまのご支援を引き続きよろしくお願い申し上げます。その他学生支援については、大学の学生への安全確保の取り組みや対応を重視しながら、できる限りの支援を行います。「院友会長賞」での支援も継続して参りたいと思っております。

【講座講演会事業(公益事業)】

風土記などの諸講座、一般公開講演会、院友会館でのサロンコンサート、また各支部主管による「もっと日本を学ぼう」を統一テーマに全国各地で開催していた公益事業も、「大規模災害被災地公益事業」も、令和2年度は全て自粛いたしました。

【特定寄付】

母校の「大規模災害学費減免制度」への寄付金として、当初1,000,000円を予定しておりましたが、この寄付をコロナ禍で困窮している学生を支援するための母校の「緊急修学支援費」へ、5,000,000円に増額して寄付を行いました。また例年同様、母校が進めている全国の高校生を対象とした文化事業へ、200,000円の寄付を行いました。

【同窓会事業】

年3回発行をしていた院友会報は、8月の号を発行見合わせといたしました。例年5月に開催の院友大会、全国支部長会議、同日予定の一般公開講演会も中止といたしました。今年度の新年院友交歓会(令和3年1月予定)も、中止といたしました。

各支部の支部総会、懇親会や支部主管の公益事業は、令和3年3月31日までは自粛をお願いいたしました。支部の中では、書面にて支部会員の方々に諸報告を行ってくださったところもありました。

【収益事業】

会館利用促進を図ってまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、収益事業は上半期で令和元年度16,334,291円に対し、令和2年度976,850円で15,300,000円余の減収です。

【法人事業】

6月25日決議の第9回定時評議員会で、定款に基づく次期評議員・理事・監事が決定いたしました。同日、第31回理事会を開催し、会長以下業務執行体制などを決定いたしました。名簿一覧を掲載のところでありますが、院友会ホームページ等でご確認ください。これに伴い、顧問、参与の選任も行われました。

以上が本年度現在の事業概要となりますが、明年度の本部・支部の諸活動につきましては、このコロナ禍の社会状況や、安全性を踏まえて現在業務執行理事を中心に検討中です。

◆ 令和3年新年院友交歓会は中止いたします ◆

新春恒例の「令和3年新年院友交歓会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止等を鑑みて、開催を中止といたします。楽しみにされている皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

一般財団法人 國學院大學院友会

Table listing the names of the board members and staff of Kokugakuin University Alumni Association, including Chairman, Executive Director, and various department heads.

新型コロナウイルス感染症による様々な影響、また幾多の自然災害により被災された皆さまに、衷心よりお見舞い申し上げます。一日も早く、平穩な日常が戻りますことを祈念申し上げます。
一般財団法人 國學院大學院友会

新型コロナウイルス禍における 学生の現状と新年に向けて

國學院大學 学長 針本 正行
(はりもと・まさゆき/82文・84修文・87博後文)



院友の皆さまには、平素から母校國學院大學に対して、物心両面にわたってご支援いただき、誠にありがとうございます。

今般、全世界を襲った新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が、母校の学生の学びをはじめ、課外活動、就職活動に影響を与えているのではないかとご心配をいただき、また、「頑張れ、頑張れ」と心温まる激励のお言葉も数多くいただきました。深く深く感謝申し上げます。

この未曾有の災禍は、これまで対面授業を当たり前として展開してきた大学教育のあり方を根幹から揺り動かし、問い直しを迫るものでもありました。

大学は、3月以来、学生、教職員の生命・身体を守り、学びを守ることを第一義にして、教学運営にあたってまいりました。以下に、学生の学修活動、就職活動、課外活動等の現状を報告いたします。

学修活動の現状

本年度は、政府の緊急事態宣言の発出、東京都の措置を受けて、5月7日から、すべて遠隔授業で開始しました。対面授業を主として展開してきた大学教育において、学生にとっても、教員にとっても初めての経験であり、この間、学生に複数回の受講アンケートを行い、通信機器(モバイルルーター及びノートパソコン)無償貸し出

し、遠隔授業内容の改善に努めています。後期の授業については、未だ、COVID-19の感染の懸念があり、原則遠隔授業の形態をとることとし、実習、実技及び一部の演習科目については、三密対策を講じた上で対面授業とすることにしました。対面授業においては、個々の学生の環境によって、登校が難しい学生が不利益を被らないように、ハイブリッド方式(対面、遠隔双方向可能な授業方式)も採用しています。

また、学部生、大学院生に対する経済支援として、『緊急修学支援費』(自宅通学者3万円、自宅外通学者5万円)と『修学支援特別貸付金』(一回10万円、計三回限度)を新設し、『緊急修学支援費』は通学者7,446名、自宅外通学者2,644名に給付し、『修学支援特別貸付金』は延べ67名に実施しました。入学後に家計支持者の経済状況が急変した学生への支援制度である『特別給付奨学金』(上限50万円)を拡充し、新型コロナウイルス感染症に伴い家計支持者の休業、休職が生じた場合の支援にも対応しています。

なお、一般財団法人國學院大學院友会吉田茂穂会長から、令和2年7月2日に、未曾有の災禍にともなう学修支援としてのご寄付を頂戴いたしました。あらためて御礼申し上げます。

就職活動の現状

COVID-19の感染拡大により、大学生を取り巻く就職環境も大変厳しいものとなりました。これは本学学生においても例外ではなく、早期から就職活動を始めていた学生はコロナ禍においてもオンライン面接などにより就職活動を進めることができましたが、就職活動の開始が遅れた学生は緊急事態宣言による社会環境の停滞などにより就職活動が止まってしまい、夏に行った4年生向けの進路調査では、現時点では昨年と比べて低い内定率となりました。

このような環境下でも、就職支援部署であるキャリアサポート課は、学生向けの支援を4月よりいち早くWEBを用いた面談やガイダンス、WEB合同企業説明会などに切り替え、例年よりも学生の状況をふまえた手厚い支援を行っています。

また、コロナ禍は就職を目指す学生にも影響があり、教育実習日程の後ろ倒しにより教育実習前に教員採用試験が実施されるという状況に困惑している学生も多く見ましたが、遠隔と対面を併用したガイダンスや講座を提供し、不安の払拭に努めました。教員採用試験の結果については、これから報告を受けるため現時点での状況は明確ではありませんが、例年並みの結果が見

込まれています。学生の就職活動に際しては、全国の院友の皆さまのご支援、ご指導、時には厳しいご叱正をお願い申し上げます。

課外活動の現状

COVID-19の感染拡大は、正課の学修活動だけでなく、課外活動にも大きな影響がありました。後期に入り、学生生活課の支援のもと、三密の対策を講じたうえで、それぞれの部会は工夫した活動を行っています。若木祭もオンライン配信により開催し、課外活動の火を消さないようにしていました。文化団体連合会・体育連合会所属の活動も、十全な練習はできないものの、後期に入り、学術研究会などはオンラインによる方法で始動し、対外試合の開催が中止となっていた強化部会も様々な対策を講じて、全国大会は難しいものもありますが、関東大会は順次開催が出来るようになりました。引き続きご声援をいただければ幸いです。

新年に向けて

新年度は、教員と学生、学生と学生が関わり合う中で紡ぎ出される学修活動が学生一人ひとりにとってかけがえのないものとなるように、学修環境を構築してまいります。全教職員が一体となって学生支援に努めますので、院友の皆さまのご指導をよろしくお願い申し上げます。

結びにあたり、院友の皆さまの新魂を言祝い申し上げますとともに、一般財団法人國學院大學院友会の益々のご発展を心から祈念申し上げます。

貸借対照表 総括表 令和2年3月31日現在/単位:円

科目	令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	増減
I 資産の部			
1. 流動資産合計	52,531,260	48,888,935	3,642,325
2. 固定資産合計	551,915,055	561,128,531	△9,213,476
資産合計	604,446,315	610,017,466	△5,571,151
II 負債の部			
1. 流動負債合計	59,558,989	54,353,630	5,205,359
2. 固定負債合計	179,296,500	180,134,300	△837,800
負債合計	238,855,489	234,487,930	4,367,559
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	9,330,187	9,169,671	160,516
2. 一般正味財産	356,260,639	366,359,865	△10,099,226
正味財産合計	365,590,826	375,529,536	△9,938,710
負債及び正味財産合計	604,446,315	610,017,466	△5,571,151

増減欄の△印は前年比減

正味財産増減計算書・予算書 総括表 単位:円

科目	令和元年度 決算額	平成30年度 決算額	増減	令和2年度 予算額
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
経常収益合計	145,528,386	145,643,821	△115,435	145,509,000
経常費用合計	155,627,612	151,944,584	3,683,028	154,587,500
当期経常増減額	△10,099,226	△6,300,763	△3,798,463	△9,078,500
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△10,099,226	△6,300,763	△3,798,463	△9,078,500
一般正味財産期首残高	366,359,865	372,660,628	△6,300,763	355,339,865
一般正味財産期末残高	356,260,639	366,359,865	△10,099,226	346,261,365
II 指定正味財産増減の部				
指定収益合計	3,260,658	2,421,025	839,633	3,452,000
一般正味財産への振替額	3,100,142	3,100,172	△30	3,100,000
当期指定正味財産増減額	160,516	△679,147	839,663	352,000
指定正味財産期首残高	9,169,671	9,848,818	△679,147	9,371,671
指定正味財産期末残高	9,330,187	9,169,671	160,516	9,723,671
III 正味財産期末残高				
	365,590,826	375,529,536	△9,938,710	355,985,036

増減欄の△印は前年比減

貸借対照表 資産合計は、六〇四、四四六、三二五円(前年度比五、五七一、一五二円増)となっており、負債合計は、二三八、八五五、四八九円(前年度比四、三三七、五五九円増)となっており、正味財産は、三六五、五九〇、八二六円(前年度比九、九三八、七二〇円減)となっている。

令和元年度決算に際しまして、多くの院友の皆さま、ご関係の皆さまのご理解とお力添えをいただきまして、誠にありがとうございます。改めまして、御礼申し上げます。貸借対照表 資産合計は、六〇四、四四六、三二五円(前年度比五、五七一、一五二円増)となっており、負債合計は、二三八、八五五、四八九円(前年度比四、三三七、五五九円増)となっており、正味財産は、三六五、五九〇、八二六円(前年度比九、九三八、七二〇円減)となっている。

「育成事業」

育成事業として、学生支援を行った。学術・スポーツ振興資金制度での六部会への支援、教職を目指す学生支援として学習指導要領等、合計八〇一冊を贈呈。キャリア講座を開催した。院友会長

「特定寄付」

國學院大學へ大規模災害費減免制度等への寄付として百万円。また、大学が取り組む高校生対象の文化事業へ二十万円を贈った。

「同窓会事業」

院友会報を年三回、引き続き所判明者全員へ送付した。支部長会議、院友大会を五月二十五日に母校を会場に開催した。院友大会は三六六名、通算三十九回目の支部長会議では五十九支部・四協力団体から支部長、事務局長等一五五名が参加した。十月十九日のホーム

「法入事業」

定款に基づき、第八回臨時評議員会を六月十八日に開催。事業報告、決算、公益目的支出計画案、高徳雄三評議員の辞任、針本正行理事(副会長)の辞任と後任理事の選任について承認された。

「収益事業」

収益事業は、増収に努めてきたが、二月から蔓延化が著しくなった新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比で約二、二〇〇、〇〇〇円余の減収となった。

令和元年度 事業報告

令和元年度当初は、支部と共に公益事業、支部総会の充実を図り、支部活性化、地域での基盤強化につとめ、加えて、学生には卒業生組織を意識してもらおうことを行う計画であったが、年明けから顕著となってきた新型コロナウイルス感染症の影響が、あらゆる方面へ大きく広がった。以下要点を報告する。

「講座講演会事業」

「風土記を読む」講座第4期・全10回のうち、三月十日分は感染症拡大防止の観点から、中止とした。協力団体である院友学術振興会共催の「國學院の古典」は令和二年一月十四日から十八日まで、儀礼文化学会共催の「生活芸術講座」は令和元年九月十五日と二十月八日に開催した。

「同窓会事業」

院友会報を年三回、引き続き所判明者全員へ送付した。支部長会議、院友大会を五月二十五日に母校を会場に開催した。院友大会は三六六名、通算三十九回目の支部長会議では五十九支部・四協力団体から支部長、事務局長等一五五名が参加した。十月十九日のホーム

「法入事業」

定款に基づき、第八回臨時評議員会を六月十八日に開催。事業報告、決算、公益目的支出計画案、高徳雄三評議員の辞任、針本正行理事(副会長)の辞任と後任理事の選任について承認された。

「収益事業」

収益事業は、増収に努めてきたが、二月から蔓延化が著しくなった新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比で約二、二〇〇、〇〇〇円余の減収となった。

令和元年度 決算

令和元年度決算は、五月二十六日決議の第三十三回理事会及び六月二十五日決議の第九回臨時評議員会で、本会定款に基づき審議され、全会一致で承認された。本会の決算に関する一連の必要書類は、内閣府公益認定等委員会が示している「公益法人会計基準」(公益法人会計基準の運用指針)に則したものとされている。

大規模災害被災地支援

事業として、福島県浜通り支部と中通り支部が合同で七月に開催。「もっとな日本を学ぼう」という統一テーマの公益事業を、山形、神奈川、埼玉、南、沖縄、鳥取、大分、群馬、石川、静岡西部(開催順)の九支部が行った。

「会館施設提供事業」

社会貢献を目的とする会館利用の際、施設の提供又は経費の補助を行った。

「特定寄付」

國學院大學へ大規模災害費減免制度等への寄付として百万円。また、大学が取り組む高校生対象の文化事業へ二十万円を贈った。

「同窓会事業」

院友会報を年三回、引き続き所判明者全員へ送付した。支部長会議、院友大会を五月二十五日に母校を会場に開催した。院友大会は三六六名、通算三十九回目の支部長会議では五十九支部・四協力団体から支部長、事務局長等一五五名が参加した。十月十九日のホーム

「法入事業」

定款に基づき、第八回臨時評議員会を六月十八日に開催。事業報告、決算、公益目的支出計画案、高徳雄三評議員の辞任、針本正行理事(副会長)の辞任と後任理事の選任について承認された。

令和元年度 「公益目的支出計画実施報告書」 内閣府へ提出

定期提出書類である内閣府への「公益目的支出計画実施報告書」は、6月29日に提出し、審査を経て9月14日に完了となった。本法人の一般財団法人移行時の公益目的財産額は620,341,554円。当該事業年度末日の公益目的財産残額は449,801,327円となっております。本法人移行時の計画では、公益目的支出計画完了予定は令和30年(2048年)3月31日でありましたが、1年短縮されて令和29年(2047年)3月31日の見込みです。

第97回箱根駅伝

おうちから声援を送ろう!!

「総合3位」が目標の選手達には、皆さまの声援が「一番の力」です。ご自宅から選手に熱い声援を送りましょう。皆さまの応援、宜しくお願いいたします。

～開催当日、沿道での応援は自粛をお願いいたします～



第97回箱根駅伝 エントリー候補選手一覧

- List of 24 candidate runners with their names, photos, and details such as year, university, and hometown.

第97回東京箱根間往復大学駅伝競走の開催について(応援自粛要請)

97回目を迎える今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大という未曾有の状況下での開催となります。本連盟では日本陸上競技連盟が定めるガイドラインに則り、感染症対策の専門家のアドバイスも踏まえて、様々な対策を取りながら準備を進めて参ります。

激戦に挑め、國大健児!

駅伝応援の会 会長 坂本眞佐人(81経)

皆さまには常々陸上競技部を応援しご支援いただきまして誠にありがとうございます。第97回箱根駅伝の正式開催が決まりましたが、コロナ禍により沿道での応援自粛が強く求められています。

覚悟と証明

國學院大學陸上競技部 監督 前田康弘



明けましておめでとうございます。平素より陸上競技部への多大なるご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございます。「覚悟と証明」、これが今年のチームスローガンです。

皆さんの見えない応援と声援を全身に受けて、総合第3位を目標に、一丸となって頑張ります。

全日本から箱根へ

第52回全日本大学駅伝は9位という結果でした。選手は全力を尽くし頑張りました。結果としては残念ではありますが、得たものや課題が多くみつかるものとなりました。

第52回全日本大学駅伝

対校選手権大会・総合成績

Table showing overall ranking of 8 universities for the 52nd All Japan University Relay Race.

以上 上位8校シード権獲得

Table showing the 9th ranked university, Keio University, with its record.

以下省略(全25チーム出場)

第52回全日本大学駅伝対校選手権大会・個人成績

Table showing individual performance of relay runners from various universities.

卓球部 院友の皆さま、新年おめでとうございます。いつも多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。



「今、一歩前へ、今年も頑張ります。」 監督 人見剛(102経記)

柔道部 皆さまに改めて感謝 明けましておめでとうございます。いつも多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。



昨日の自分を 超える挑戦 院友の皆さま、あけましておめでとうございます。今シーズンはコロナ禍で活動が制限される中、各々がスローガンを実現する日々を送ってまいりました。

ソフトテニス部 院友の皆さま、新年おめでとうございます。いつも多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。

監督 小杉誠(86法記)



監督 神谷武(102法記)



硬式野球部 目指すはリーグ優勝そして日本一! 明けましておめでとうございます。皆さまからのご支援、ご声援いつも誠にありがとうございます。

Table showing the 1st league game results for the Softball team.